

調布市食物アレルギー事故再発防止検討委員会に
亡くなられた女の子のご両親から
寄せられたメッセージ

委員の皆様へ

娘の命はたった 11 年という短いものでしたが、家族、親族、地域の方々にこれ以上ないほど愛され、周囲の慈しみの中で輝いて生き抜いた人生だったように思います。

食物アレルギーや喘息という負担を抱えてはいたものの、その事実を前向きに捉えて、そのことによってむしろ豊かな感性や注意深い観察力を育んだとさえ思っています。見るもの触れるもの全てに敏感な、思慮深いところのある子どもでした。日々を謳歌し、ひたすら一生懸命に、明るく楽しんで生きていました。

そして将来は、自分の経験を生かして、子どもが助かるような研究をする科学者になりたいと、大きな夢を持って未来を目指していました。

国や医学界、教育現場、行政の皆様には、この死を無駄にせず、多くのアレルギーを持つ子どもやその保護者の安心につながるような確実な施策を作り上げて、未来に向いていた娘の思いに応えてほしいと思っています。

2013 年 4 月 10 日

両親より